

2012年度報告の総括と次年度の目標

〈社会性目標と実績〉

Plan

| | 主な活動テーマ | 2012年度目標 |
|---------------------|------------------------|--|
| CSR方針 と体制 | CSR推進体制と浸透 | <ul style="list-style-type: none"> ● 集合研修、e-ラーニングを継続し、CSR意識の向上を図る ● 事業所ごとの目標と実績を活用し、PDCAサイクルを加速。取り組みレベルをさらに向上させる |
| | コンプライアンス・マネジメント | <ul style="list-style-type: none"> ● 各支店のマネジメント状況を検証。各種ツールの運用で、従業員全員のコンプライアンス意識を一層向上させる ● 人権擁護について、引き続き事業所の責任者がリーダーとなり、働きやすい自由闊達な職場風土をはくむ取り組みに注力する ● 内部統制システムの運用徹底、リスクマネジメントの強化に引き続き取り組む |
| | 社会とのコミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ● サステナビリティレポートを活用した意見交換会などのステークホルダーとの対話機会を創出 |
| お客様 のために | お客様満足の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ● オーナー様とのコミュニケーションを強化、さらなるお客様満足の向上を目指す |
| | 安全・安心・健康・快適な 住まいづくり | <ul style="list-style-type: none"> ● 「いつもいまが快適」をテーマに、あらゆる世代を通じて、誰もが使いやすい心地よい「スマートUD」の住まいづくりを推進 ● オリジナル制震システム「シーカス」を積極的に推進し、暮らしの快適性向上を目指す ● 「納得工房」「住まいの夢工場」などの体験型学習施設を有効活用し、安全・安心・快適な住まいづくりをサポートする ● 賃貸住宅入居者様とのコミュニケーションを強化、さらなる満足の向上を目指す |
| | コミュニティの形成と地域文化の継承 | <ul style="list-style-type: none"> ● 「まちなみ参観日」「隣人祭り」の開催地を増やし、地域住民によるコミュニティづくり、地域文化継承をサポート |
| 従業員、 取引先 のために | 従業員とともに | <ul style="list-style-type: none"> ● 「人材サステナビリティ」宣言に基づき、より一層「従業員が幸せを感じ、いきいきと仕事ができる企業集団」となるよう職務面談、評価制度の改定等の施策を実行 ● 女性が成果を出しながら、いきいきと働き続けることができる環境の整備と意識改革による女性活躍のさらなる推進 ● 社内諸制度の利用を促進し、多様な人材の活用を進める。障がい者雇用は喫緊の課題として取り組む ● 労務管理コンプライアンスを徹底し、多様な働き方とワーク・ライフ・バランスを支援する ● 各事業所の安全衛生委員会の積極活用等により労働安全衛生を一層推進する |
| | 協力工事店・取引先の皆様とともに | <ul style="list-style-type: none"> ● 取引先との健全な関係を継続するため、グループ会社を含めて、「企業倫理要項」等のルールを徹底する |
| | 株主・投資家の皆様とともに | <ul style="list-style-type: none"> ● 中長期にわたる高い利益配分の実現と経営の健全性を維持するため、中期的な平均配当性向40%を確保。中間配当12円、期末配当13円の通期25円を予定 |
| 株主、 地域社会 のために | 住文化向上・教育支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地域に開かれた企業として、自社の施設やノウハウを生かして、住文化の向上に注力する ● 体験型学習施設などを利用した教育貢献活動をさらに充実させ、授業での講師派遣や職場体験の受け入れを拡大する |
| | 地域社会への貢献 | <ul style="list-style-type: none"> ● 社会貢献活動の情報発信、共有と内容のさらなる充実により、全体的な取り組みレベルの底上げを図る ● 「積水ハウスマッチングプログラム」第7回はNPOなど21団体へ1660万円を助成予定。従業員の活動理解と参加を促進 ● 公益信託「神戸まちづくり六甲アイランド基金」を通じて、神戸市における国際的・文化的コミュニティづくりに資する活動を助成 |

WEB 目標と実績の詳細はWEBに開示しています。

Do

2012年度の活動内容

Check

参照 ページ 評価

Action

2013年度目標

| | | | |
|--|------------------------|---|--|
| ● e-ラーニングを活用し、従業員一人ひとりのCSR活動の実践につなげた | P.33 P.34 | ○ | ● 集合研修、e-ラーニングを継続し、CSR意識の向上を図る |
| ● CSRへの取り組みの各分野における目標と実績を検証し、改善活動を推進することにより事業所ごとのレベル差を改善できた | | ○ | ● 事業所ごとの目標と実績を活用し、PDCAサイクルを加速。取り組みレベルをさらに向上させる |
| ● 全従業員から「企業倫理要項」等を遵守する旨の誓約書を取得。「ガバナンス意識調査」を実施し、マネジメントスタイル気付きのツールとして実践的に活用 | P.33 P.36 | ○ | ● 各支店のマネジメント状況を検証。各種ツールの運用で、従業員全員のコンプライアンス意識を一層向上させる |
| ● 事業所長が全従業員に対しヒューマンリレーション研修を実施。セクハラ・パワハラ相談窓口について全事業所に担当者を配置しスキルアップを図った | | ○ | ● 人権擁護について、引き続き事業所の責任者がリーダーとなり、働きやすい自由闊達な職場風土をはぐむ取り組みに注力する |
| ● 新しい業務ルールを適正に運用。2012年度にコンプライアンス上の大きな問題は発生しなかった | | ○ | ● 内部統制システムの運用徹底、リスクマネジメントの強化に引き続き取り組む |
| ● 「ゼロエミッションセンター」「サステナブル デザイン ラボラトリー」「観環居」などでサステナブルな暮らしについて、多様なステークホルダーとさまざまなコミュニケーションを実施 | P.05~P.08 P.31~P.32 | ○ | ● 2013年4月に開設する「住ムフラボ」も活用し、サステナブルな暮らしについて、多様なステークホルダーとさまざまなコミュニケーションを実施 |
| ● お客様アンケート満足度調査で、満足度95.7%。「Netオーナーズクラブ きずな」は月2回のコンテンツ更新で情報の鮮度を向上。オーナー様向け情報誌の定期発行とアンケートの実施、分析、改善 | P.35 | ○ | ● オーナー様とのコミュニケーションを強化、さらなるお客様満足の向上を目指す |
| ● 「納得工房体験型研修」と「SH-UDマスタープランナー制度によるUD啓発活動」が「AUDアワード2012」大賞/経済産業大臣賞を受賞。「第6回キッズデザイン賞」で6項目が受賞し、多彩な取り組みが評価された。2項目が審査委員長特別賞を受賞 | P.61 | ○ | ● 「いつもいまが快適」をテーマに、あらゆる世代を通じて、誰もが使いやすい心地よい「スマートUD」の住まいづくりを推進 |
| ● 「シーカス」搭載率75.0% | P.57 | ○ | ● 引き続き積極的に提案 |
| ● 来場者数「納得工房」3万3377人、「住まいの夢工場」9万5421人、「住まいの家学館」8万7691人 | P.05 | ○ | ● 「納得工房」「住まいの夢工場」などの体験型学習施設を有効活用し、安全・安心・健康・快適な住まいづくりをサポートする |
| ● 一括借上・管理室数50万6353室、入居率96.0%。入居者向け総合サービス「MASTクラブ」会員は約48万4000人 | WEB | ○ | ● 賃貸住宅入居者様とのコミュニケーションを強化、さらなる満足の向上を目指す |
| ● 年2回開催の「まちなみ参観日」を戸建住宅134会場529棟、マンション9会場170戸で実施。「隣人祭り」を54回開催 | P.23 P.26 | ○ | ● 「まちなみ参観日」「隣人祭り」の開催地を増やし、地域住民によるコミュニティづくり、地域文化継承をサポート |
| ● 従業員のやりがい、納得度を高めるべく、評価制度を一部改定。企業理念に基づく活力あふれる組織風土がさらに強化されつつある | | ○ | ● 「人材サステナビリティ」宣言に基づき、より一層「従業員が幸せを感じ、いきいきと仕事ができる企業集団」となるよう職務面談、評価制度の改定等の施策を実行 |
| ● 東証「なでしこ銘柄」に住宅・建設業界から選定。女性営業職で優秀な業績を挙げながら、結婚、出産、育児を経験した従業員が徐々に増加。女性管理職も増加し、グループで52人となった(女性管理職比率1.21%) | | ○ | ● 女性が成果を出しながら、いきいきと働き続けることができる環境の整備と意識改革による女性活躍のさらなる推進 |
| ● 職群転換制度により21人が職群転換。退職者復職登録制度を活用しこれまでに13人が復職。障がい者雇用率は1.90%となった | P.65 P.67 | ○ | ● 社内諸制度の利用を促進し、多様な人材の活用を進める。障がい者雇用は喫緊の課題として取り組む |
| ● 次世代育成へ積極的に取り組む企業として認定マーク「くるみん」を取得(3度目)。女性育児休業取得者は131人、短時間勤務制度の利用者は223人といずれも増加。また研修により、働き方の変革や業務改善による生産性の向上を促進。女性の育児休業取得後の復職率は94.1% | | ○ | ● 労務管理コンプライアンスを徹底し、多様な働き方とワーク・ライフ・バランスを支援する |
| ● 業務災害37件(前年度比7件増)、通勤災害9件(9件減)。メンタルヘルスを重要テーマとしたヒューマンリレーション研修を実施 | | ○ | ● 各事業所の安全衛生委員会の積極活用等により労働安全衛生を一層推進する |
| ● 内部統制チェック項目の一つに下請取引に関するチェック項目を設けており、公正な取引が実施されていることを確認。方針説明会を年2回開催 | P.63 P.64 | ○ | ● 取引先との健全な関係を継続するため、グループ会社を含めて、「企業倫理要項」等のルールを徹底する |
| ● 配当性向は40.5%を確保。通期の1株当たり配当金は3円増配し、28円。株主優待制度として引き続き、株主優待ポイント制度および株主優待贈呈制度を実施 | P.68 | ○ | ● 中長期にわたる高い利益配分の実現と経営の健全性を維持するため、中期的な平均配当性向40%を確保。中間配当18円、期末配当18円の通期36円を予定 |
| ● 「すまい塾」729人受講。「Webすまい塾」申込225件、産学連携と大学間の交流を図る。「住空間ecoデザインコンペティション」は全国51大学から222作品の応募 | | ○ | ● 地域に開かれた企業として、自社の施設やノウハウを生かして、住文化の向上に注力する |
| ● 学生の見学者数:「納得工房」「住まいの夢工場」「住まいの家学館」で計5947人。「新・里山」での小学生・幼稚園児の農作業体験を実施。「いえコロジ」セミナー、「Dr. フォレストからの手紙」など三つの環境教育プログラムを継続実施 | | ○ | ● 体験型学習施設などを利用した教育貢献活動をさらに充実させ、授業での講師派遣や職場体験の受け入れを拡大する |
| ● SELP製品をノベルティとして3万5045個採用。障害者週間行事を行政、経済団体、NPO、他企業と共催。和歌山県「企業の森」でのボランティア活動を継続実施。ボランティア延べ2283件実施、延べ1万6665人参加。ボランティア体制制度をこれまでに6人が利用 | P.69 P.71 | ○ | ● 社会貢献活動の情報発信、共有と内容のさらなる充実により全体的な取り組みレベルの底上げを図る |
| ● 東日本大震災遺児を経済支援する「もも・かき育英会基金」が950万円を寄付(2回目)。「こども基金」「環境基金」の第7回は21団体へ1660万円を助成。第8回は139プログラムが応募。会員数は2614人。2008年から支援していた「チャイルド・ケモ・ハウスの」施設建設に約2億2000万円を寄付 | | ○ | ● 「こども基金」「環境基金」の第8回助成として、22団体に2040万円を助成、累計1億円を突破。従業員の活動理解と参加を促進 |
| ● 2012年度は34件の活動に1980万円を助成。これまでの助成金額累計は3億6596万円 | | ○ | ● 2013年度は、36件の活動に1970万円を助成予定 |

【自己評価の基準について】 ○… 目標を達成 △… 達成できなかったが目標に近付いた ×… 目標に向けた改善ができなかった

〈環境目標と実績〉

Plan

| | 主な活動テーマ | 2012年度目標 |
|--------------------|-----------------------------|---|
| CO ₂ 削減 | 居住時CO ₂ 削減 | <ul style="list-style-type: none"> ● 太陽光発電システム搭載戸建住宅 1万2000棟契約 ● 燃料電池搭載住宅 6000棟契約 ● 戸建住宅における「グリーンファースト」比率 80% ● 開口部の断熱リフォーム面積 7万4400m²、高効率給湯器の設置棟数 4700棟、太陽光発電システム設置棟数 3500棟、省エネバスリフォーム 3500セット(昨年度CSRの創エネ・省エネルギーフォームはここに吸収) ● 新規販売建売分譲住宅における環境共生住宅割合100% ● 環境配慮型賃貸住宅「シャーマゾン グリーンファースト」の普及に注力し、全体の30%を目指す(CSR目標から移動) |
| | 事業活動、生産時のCO ₂ 削減 | <ul style="list-style-type: none"> ● 出荷m²当たりのCO₂排出量を ・生産にかかわるCO₂ … 2011年度比6.2%削減 ・輸送にかかわるCO₂ … 2011年度比3.0%削減 ● 低燃費車率94% 低排出ガス車率98% |
| 生態系保全 | 材料調達時の生態系への配慮 | <ul style="list-style-type: none"> ● 「木材調達ガイドライン」新ガイドラインの本格運用 ● 「木材調達ガイドライン」におけるS・Aランク木材比率 90% ● 森林認証取得について、継続検討 |
| | 住宅の植栽を通じた生態系保全 | <ul style="list-style-type: none"> ● 年間植栽本数100万本 ● 新規販売建売分譲住宅すべてで「5本の樹」計画樹種を植栽 |
| 資源循環 | 生産・施工時の資源循環 | <ul style="list-style-type: none"> ● 出荷m²当たりの工場生産時廃棄物量を2011年度比3.0%削減 ● 電子マニフェスト化率 2012年7月末100% ● 新築施工現場における廃棄物発生量(1棟当たり/145m²換算):日安1200kg |
| その他 | 事務作業時の資源循環 | <ul style="list-style-type: none"> ● グリーン購入率 95% |
| | 化学物質の管理 | <ul style="list-style-type: none"> ● 鉄骨系主力商品での空気環境配慮仕様「エアキス」の一層の普及 |
| | 従業員による環境行動 | <ul style="list-style-type: none"> ● 夏季・冬季を中心に節電の取り組みを継続 |

 目標と実績の詳細はWEBに開示しています。

Do

Check

Action

2012年度の活動内容

参照 ページ 評価

2013年度目標

| | | | |
|--|--------------|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 太陽光発電システム搭載戸建住宅 1万1920棟契約 目標にはわずかに達しなかったが、採用率は74.9%と前年度を3ポイント上回った | P.48 | ○ | ● 採用率を目標とし、80%を目指す |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 燃料電池搭載住宅8095棟契約 目標を35%上回る8095棟を達成、設置比率は50%を超えた | P.48 | ○ | ● 採用率を目標とし、60%を目指す |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 83.8% 目標を3.8ポイント上回った | P.22 P.47 | ○ | ● 「グリーンファースト ゼロ」比率に 目標を変更して継続。40%を目指す |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 開口部の断熱リフォーム面積 4万4052m²、高効率給湯器の設置棟数 3887棟、 太陽光発電システム設置棟数 6058棟、省エネバスリフォーム 3513セット 大幅に実績を伸ばした太陽光発電システムと省エネバスリフォームは目標を達成したが、 他は目標を達成できなかった。「シャーマゾン」への太陽光発電システムリフォームは 昨年の7倍と大幅に増加 | P.50 | △ | ● 開口部の断熱リフォーム 5万2000m ² 、 高効率給湯器リフォーム 4200棟、 太陽光発電システムリフォーム 6100棟、 省エネバスリフォーム 4000セット |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 建売分譲住宅における環境共生住宅割合80% 新規販売建売分譲住宅のすべてで環境共生住宅認定取得を目指したが、80%の取得にとどまる | WEB | △ | ● 建売分譲住宅における 環境共生住宅割合100% |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 「シャーマゾン」における太陽光発電システム設置率は44.6% 固定価格買取制度も追い風となり、目標の1.5倍の太陽光発電システム設置率となった | P.47 | ○ | ● 「シャーマゾン」における太陽光発電システム 設置率は60%を目指す |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 出荷m²当たりのCO₂排出量を ・生産にかかわるCO₂ … 2011年度比1.3%削減 ・輸送にかかわるCO₂ … 2011年度比2.2%削減 工場生産にかかわるCO₂は、兵庫工場で燃料転換(A重油→都市ガスへ)などを実施し、 輸送にかかわるCO₂は、工場と物流センター間の輸送効率向上などの施策により削減を図るも、 目標は達成できなかった | WEB | △ | ● 出荷m ² 当たりの排出量を ・生産にかかわるCO ₂ … 2012年度比1.0%削減 ・輸送にかかわるCO ₂ … 2012年度比1.3%削減 ● ヘルパーン製造ラインについて別扱いとし、静岡・東北 2拠点からの安定供給が開始された時点で、目標を検討 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 低燃費車率94.1% 低排出ガス車率97.6% 低燃費車率は目標を達成。低排出ガス車率についても、ほぼ目標に達した | WEB | ○ | ● 低燃費車率95% 低排出ガス車率98% |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 改定したガイドラインに基づく運用実施 改定したガイドラインに沿って実態調査。 連続性確保のため加点項目として別評価し、S～Cランクの基本配点は維持 | P.53 | ○ | ● 各サプライヤーへの指導を具体化 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 89% ほぼ目標を達成 | P.53 | ○ | ● 95%。ただし、社会性配慮木材等の 比率別枠で表示の検討 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 関係部署とともにCoC認証取得に対する検討を実施 検討の結果、直ちにCoC認証取得を実施する環境が整っていないと判断し保留。 請負事業として「プロジェクト認証」物件に着手 | — | △ | ● 森林認証取得について、継続検討 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 年間植栽本数101万本 事業所における植栽受注推進の管理指標を徹底し、全社で共有を進めた | P.52 | ○ | ● 年間植栽本数110万本 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 建売分譲住宅すべてで「5本の樹」計画樹種を植栽 「まちなみ参観日」で販売する建売分譲住宅に加え、一般の建売分譲住宅すべてに「5本の樹」計画に基づく樹種を採用 | WEB | ○ | ● 建売分譲住宅すべてに 「5本の樹」計画樹種を植栽 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 2011年度比1.7%削減 木くず、金属くず、コンクリートくずは削減が進んだが、塗料バリエーションの増加等の要因により汚泥が増加し、 目標は達成できなかった | WEB | △ | ● 2012年度比2.2%削減 ● ヘルパーン製造ラインについて別扱いとし、静岡・東北 2拠点からの安定供給が開始された時点で、目標を検討 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 2013年1月末100% 2009年度に9.6%だった電子マニフェスト化率を、2012年度末で100%(利用事業所の率)に。 今後、運用維持発展させ、より使いやすいシステムにする | P.55 | ○ | ● より合理的で確実な廃棄物管理業務を行う体制を IT技術を活用し整備することで継続検討 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 1441kg 型式ごとの目標から変更 | WEB | × | ● 引き続き、目安として1200kg |
| <ul style="list-style-type: none"> ● グリーン購入率 93% グリーン購入の継続推進に取り組み、購入率は昨年同様の93%にとどまる | WEB | △ | ● グリーン購入率 95% |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 鉄骨系主力商品における空気環境配慮仕様「エアキス」の採用率が期末では約8割に 健康への関心の高さから大幅に普及が進んだ | WEB | ○ | ● 賃貸住宅「シャーマゾン」での普及を推進 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 夏季・冬季を中心に節電の取り組みを継続 夏季、事務所・展示場等では、電力使用量を2010年比で26%削減 | P.50 | ○ | ● 全社で夏季・冬季節電の取り組みを推進 |

【自己評価の基準について】 ○… 目標を達成 △… 達成できなかったが目標に近付いた ×… 目標に向けた改善ができなかった